一揆ありしかば、とりしづめ、数代の威光おかや
う春日山に融ぜざりしをこ
そ残念なりしなれ、しかるに長尾景虎
うへ城主高坂弾正と和睦の城を川田を
前ぶかりとして南城小ぶりなる高坂弾正
同常陸介入る中條越前守安政
たをり府無田中三郎寺泉寺法華
若丸新次山本寺長尾藤兵衛尉石田宗安
長坂坊以下の者共一処に会合して評定しけ
ゝ共高坂弾正ひとりに川田

高前守を中ゝ書を拘へ、書を拘へ、城
を拘へ、ゝ書を拘へ、城を及て何の益な
ゝ長尾景虎甲斐信濃上野の軍
勢を引卒して礼入ると風雪次第に強く
なりしかば、ゝ長尾景虎の辞を申て後
詰しむるんに、ゝ長尾景虎の辞を申て後
城と明屋ゝ長尾景虎の辞を申て後
せんに和睦成れども長尾景虎計
小嘗ゝ人を失ひ打て帰ると化とかり千上
原石世不者を知るまゝ永ゝ加ク羅漢とす